

1. 件名：敦賀発電所敷地内破砕帯の調査に関する有識者会合について

2. 日時：平成26年12月5日（金） 11時30分～12時20分

3. 場所：原子力規制庁 9階

4. 出席者

先方：日本原子力発電株式会社 市村副社長 他5名

当方：原子力規制庁 原子力規制部 小林安全規制管理官（地震・津波安全対策担当）

同管理官（地震・津波安全対策担当）付 渡邊管理官補佐

5. 要旨

○当方から、12/3の原子力規制委員会での議論（敷地内破砕帯調査に関する有識者会合の進捗状況について）を説明するとともに、敦賀発電所敷地内破砕帯調査に関する有識者会合のピアレビュー会合を12/10に行うことを伝達した。

○先方から、有識者会合立ち上げの際や5/29の報告徴収の際の、「（活断層に該当するか）規制委員会として判断する」という位置づけと、今回の有識者会合による評価書の報告を規制委員会が受けた際の扱いの違いについて質問があり、当方からあらためて回答することとなった。

○また、先方から、

- ・評価書案について、ピアレビュー会合の前に、あらためて事業者も交えて議論する機会が欲しい。

- ・1月の現地調査にピアレビューの先生方にも参加いただいたこともあり、ピアレビューの先生方にも新しいデータを説明する機会を設けて欲しい。

との申し入れがあった（別添参照）。

○当方からは、申し入れについては取り扱いを検討するが、ピアレビューは5名の有識者とその他の有識者の間で議論を行うものであり、ピアレビューの先生方に事業者から説明を行う必要はないと考える旨回答した。

6. その他

添付資料（申入れ）